

令和7年度 事故概要一覧表

令和7年4月～令和8年3月

機関名 相模原市

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
5/2	5/2	境川	境川	南区 上鶴間本町			○	① 相模原市 ② - ③ -	不明	5/2 午前9時に市民から町田駅近くの事業所から、境川に発泡水を排出しているとの通報を受け、現地調査を行った。鹿島橋上流の左岸排出口から少量の発泡水が生じていることを確認したため、発生源と考えられる事業所への立入調査を行ったが原因究明には至らなかった。簡易測定結果及び魚類の遊泳を確認したことから、河川影響は少ないと判断した。	-
8/8	8/8	境川	境川	緑区 橋本			○	① 相模原市 ② - ③ 相模原市	判明	8/8 午後0時35分に市民から境川の小山橋付近で白濁水が流れているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、小山橋付近に白濁の溜水を確認し、上流の吐口に白濁水が流れた跡を確認した。吐口の上流方向が工事現場であったため、現場責任者に聴取したところ、外壁塗装に使用した機材を洗浄し、水性塗料を含む洗浄水を敷地内の側溝へ排出したことを認めた。当該側溝は雨水管へ接続されていた。発生原因者に対し、新たな洗浄水等を排出しないことを指示し、調査を終了した。	新たな洗浄水等を排出しないことを指示した。
8/13	8/13	相模川	水路	南区 新戸			○	① 相模原市 ② 座間市 ③ -	不明	8/13 午後5時45分に相模原市農政課から南区新戸 600 付近の用水路に油が浮いているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、用水路内のごみ回収柵に油入りのビニール袋を確認し、破損した袋から油が流出して	-

										いた。行為者は不明である。座間市により油入りビニール袋の回収及び中河原橋上流でのオイルマット敷設が行われたことを確認し、調査を終了した。	
12/15	12/15 12/18 12/26	相模川	姥川	中央区 上溝		○		① 相模原市 ② 相模原市 ③ ー	不明	12/15 午前 11 時 5 分に相模原市河川課から姥川のせどむら橋付近でガソリンのような臭いがしており、油膜が浮いているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、幸来橋下流吐出口（雨水幹線管渠出口）（以下、幸来橋下流吐出口）からせどむら橋にかけて油膜が確認された。しかし、幸来橋下流吐出口から新たな油の流入がなく、原因の特定には至らなかった。応急処置としてせどむら橋の上流及び下流にオイルマットを設置した。 12/18 及び 12/26 に新たな油の流入がないことを確認し、本件の対応を終了した。	ー
12/18	12/18	相模川	鳩川	南区 下溝		○		① 相模原市 ② ー ③ 相模原市	判明	12/18 午前 11 時 5 分に市民から鳩川が黄白色に染まっているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、下庭橋付近（鳩川と姥川の合流地点）で鳩川上流から黄白色の濁りが流入しているのを確認した。鳩川上流方向で県道 5 2 号拡幅工事に合わせた護岸改良工事を行っていたため、作業員に聴取したところ、これまで度々破碎や掘削の作業をしていたが、より水面に近い位置の作業を本日から始めたために土砂が流入したことを認めた。元請負人に対策の検討を依頼し、本件の対応を終了した。	対策の検討を依頼した。
12/22	12/22 12/23 12/24 12/26	相模川	鳩川	中央区 上溝		○		① 相模原市 ② 相模原市 ③ 相模原市	判明	12/22 午前 8 時 25 分に市民から鳩川の与次右エ門橋及び上流の鳩川新橋で油が流れているとの通報を受け、現地調査を行った結果、久保橋から下	場内側溝に残った油の清掃を指示した。

											流にて油膜を確認した。雨水管上流調査及び発生源と考えられる事業所への立入調査により、冷却油の漏えい防止槽に溜まった油を雨水管へ接続されている場内側溝に流したことが原因であると判明した。油流出を伴う作業は前日までに終了していた。鳩川への応急措置として、新一の沢橋上流にオイルフェンスを敷設した。新たな油の流出はないことを確認し、本件の対応を終了した。	
12/26	12/26	相模川	鳩川	南区 下溝			○	① 相模原市 ② ー ③ ー	不明	12/26 午後 1 時 12 分に相模原市環境保全課職員が天下橋上流の雨水幹線管渠出口からの流水が白濁していることを確認した。採水した河川水の簡易分析を行っている間に流水の白濁がなくなったため、原因の特定には至らなかった。河川水の簡易分析結果に異常はなかったことから、本件の対応を終了した。	ー	
1/22	1/22 1/23	相模川	谷津川	緑区 久保沢			○	① 相模原市 ② 原因者 ③ 相模原市	判明	1/22 午前 11 時 17 分に神奈川県企業庁相模原水道営業所工務課から久保沢 2 丁目 7 付近の谷津川に白濁水が川に流れているとの通報を受け、現地調査を行った。通報地点の下流調査を行った結果、相模川小倉橋下の谷津川と相模川との合流地点及び相模川本川において、河川水の外観等の異常及び魚のへい死等は確認できなかったため、通報地点の遡上調査を行った。その結果、建物の修繕工事付近の道路側溝で白濁水を確認した。修繕工事請負業者に聴取した結果、白濁水は当該工事に使用した白色塗料であることが判明したため、道路側溝等の清掃を指示した。 1/23 に相模川及び谷津川並びに修繕工事付近の道路側溝に白濁水及び白色塗料がないことを確認し、本件の対応を終了した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原因者に対して、原因物質の流出防止及び再発防止について指導した。</li> <li>原因者は、道路側溝等の清掃を実施した。</li> </ul>	

1/30 2/17	1/30 2/17	相模川	姥川	中央区 上溝		○	① 相模原市 ② 相模原市 ③ —	不明	<p>1/30 午後 2 時 20 分に河川課から姥川のせどむら橋付近で油膜が浮いているとの通報を受け、現地調査を行った。油膜の流出対策として河川課でオイルマットを敷設し、環境保全課は原因調査を行ったが、管路内に油膜を確認できなかったことから、当日の対応を終了した。</p> <p>2/17 午前 10 時 30 分に河川課経由で神奈川県環境科学センターから同様の通報を受け、現地調査を行った。油膜の流出対策として河川課でオイルマットを敷設し、環境保全課は現地調査時、河川に油膜が浮いていることを確認したため、原因調査を行った。中央区南橋本 4・8 付近の雨水管にわずかに油膜が浮いていることを確認したが、発生源の特定には至らなかった。</p>	—
3/27	3/27 3/30	相模川	串川	緑区 長竹		○	① 相模原市 ② — ③ 相模原市	判明	<p>3/27 午後 4 時 38 分に市民から葦尾根バス停付近から悪臭のする灰色の水が流れているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、葦尾橋上流側の右岸排出口より白濁水の流出を確認した。下流調査を行った結果、串川合流地点では河川水の外観等の異常及び魚のへい死等は確認できず、特段串川への影響は確認できなかったため、当日の対応を終了した。</p> <p>3/30 に葦尾橋上流側の右岸排出口の遡上調査を行った。その結果、工場から排出される排水が原因であることが判明した。</p> <p>当該工場への指導等は津久井下水道事務所へ引き継いだ。</p>	—
3/27	3/27 3/28	相模川	鳩川	緑区 下九沢		○	① 相模原市、神奈川県広域水道企業団 ② — ③ —	不明	<p>3/27 午後 4 時 40 分に河川課経由で市民から、自宅近辺の鳩川が白く濁っているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、葛輪ふれあい第一橋</p>	—

										及び葛輪ふれあい第二橋で白濁水を確認したが、当該橋の上流に位置する西内出橋並びに下流に位置する九沢橋、四ッ谷さくら橋及び鳩川新橋の現地調査では、白濁水を確認できなかった。また、葛輪ふれあい橋第一橋上流の雨水吐け口に続く管路を踏査したが、発生源を特定できなかった。 3/28 に葛輪ふれあい第一橋及び西内出橋で白濁水はないことを確認し、本件の対応を終了した。	
合 計	—	—	—	—	0	4	7	—	判明 5 不明 6	—	—